NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

発行元: NPO 法人大阪市地域福祉施設協議会

企画委員会《広報宣伝部》

担当:望之門保育園 佐伯 剛

6651 - 7741TEL 6652-8841 Fax

5

発行日: 2018 年 9 月 第 1 号

感じ、 ましたことを、 して翌2016年度に「地域福祉の諸問題」 2 0 15年度、 大地協の改革委員会が発足しました。 とても嬉しく思います。

ています。 さんからの希望を実現するものです。 の復刊も、 んや個人会員の皆さんの、今も昔も変わらないセツルメン そして2018年度、 への熱い思いに他なりません。今回の「大地協ニュース」 時代を見据え、新たな地域福祉への取り組みを模索し その原動力を担っているのは、 熱い思いを持った施設長の先生方や、職員の皆 大地協は本来の理念を継承しなが 会員施設の皆さ

1

イントの一つに、 示したいものです。今一つの弱点は、自己満足の領域から 大地協は、 ス」を活用して、大いに大地協をアピールし、 以前より指摘されてきましたが、 発信力の弱さがあります。 「大地協ニュ ウ 存在感を 1 ークポ

VI

# 「大地協ニュース 復刊第一号」によせて

に復刊されました。昨年度は第2号も発刊することができ 大地協事業の停滞と低迷を関係者の が10年ぶり 改革の 環と 皆 が

信し、

批判を受け、叩かれることが必要な時期ではないでし

そのためにも「大地協ニュース」を最大限活用し、

よう

しましょう。そしてたくさんの方々から、意見をいただきま

さまざまな意見や情報を各種団体・

施設・地域・機関に発信



NPO 法人大阪市地域福祉施設協議会 倉光 愼二 会長





な役割を担って、大地協の更なる進化に寄与できることを大 る私たちのミッションなのです。「大地協ニュース」 あらゆる手段で繋ぎましょう。それが今、大地協に名を連 せる時です。 て以来60年余りの歴史を誇る大地協。今こそ底力を開花さ に期待し、 1957年大阪市セツルメント研究協議会として発足し たします。 改めて関係者の皆さまのご支援、ご協力をお みんなで積み重ねてきたセツルメントの が新た

合い、 脱却でき得ていないことです。お互いが認め合い、 も大切なことと思いますが、側面から見れば、 ブの域を脱していません。大地協の取り組みを広く周囲に発 励まし合うことは、 連帯感や協働感の醸成に なかよしクラ カバ は、 とて

### 地域の子ども研究会の活躍

地域の子ども研究会は現在12施設13人の参加者で行っています。 今年度は施設間交流を軸に各行事に取り組んでいます。5月のドッジボール大会では施設内のみでチームを作るのではなく施設合同でチームを作りました。5・6年生は審判などのお手伝いを頼み活躍してくれました。はじめはとまどう姿など見られましたが、なにかを一緒にする事ですぐに打ち解けていました。

6月には全施設とはいきませんでしたが合同遠足も行いました。 他施設の先生とも関わり楽しそうに遊ぶ姿が見られました。ドッジ ボール大会のようにみんなとなにかをする姿はありませんでした が、少人数のグループがあちらこちらで出来ていました。

今後の予定として 11 月のともだちフェスティバルがあります。 各担当に分かれて子ども達が楽しめる企画を計画中です。応援よろ しくお願いします!

長居子どもの家 川畑 亮輔





# TYILOR BERLIN IFER



真夏日が続く中、今年もセツルの家でのキャン プが始まりました。

大ニュースだよ!この夏セツルの家が変わり ました!!

別棟の畳部分がフローリングになりました! これで不快な害虫から守られて快適にすごす ことができます。

さあ皆さんもぜひセツルの家を使ってみてく ださい。

そしてクイズに答えて豪華賞品を当てよう! 長居保育園竹内までFAXにてご応募ください!

長居保育園 竹内 久美

# POLESTION ?

での中に当てはまる数字を入れてください。何問答えられるかな?

- ・ セツルの家が始まったのは 19〇〇年からで 今年 2018 年は〇〇年目の夏です。
- ② 湖に設置している飛び込み台は○台ですがオレンジ色のブイの数は○○個です。
- ① 本棟の縁側のアミ戸の数は○○枚で、その手前にある引き戸の数は○○枚です。
- ↓ レンタルの布団は○○枚でセツルの家の 布団は○○枚です。
- (1.5) セツルの家にはエアコンが〇台あり、 扇風機は置き型〇台と壁掛け型が〇台 あります。
- ↓ 6 セツルの家には五右衛門風呂が○つ、 シャワーが○つあり使えます。また お風呂の椅子が○つ洗面器が○つあります。

「皆さんは何問正解できましたか?全問正 解であなたもセツルの家マスター☆です!」

### 地域の子育て研究会の活躍

地域の子育て支援研究会は、2003 年4月に発足し、毎年定期的に研究活動や研修会を行ってきました。ここ数年は、少し停滞気味でしたが、この度新しいメンバーを迎え再スタートすることとなりました。

日常の保育をする中で、「親子関係が気になるけど、どんなふうにアプローチしたらいいのかな?」「落ちつきのない子どもたちへの対応は、どうしたらいいだろう?」「年齢に合わせた新しい遊びを知りたいなあ~」など思ったことはありませんか?

他園の取りくみの実践を聞いたり、悩みや思い を気軽に話せる研究会にしたいと考えています。 美味しいお茶を飲みながら楽しんで意見交換や 情報交換をしましょう!!

次回は、秋に研修会を予定しています。経験年数にこだわらず、ぜひ遊びにきてくださ~い。きっと得るものがありますよ!

育徳園保育所 森井 利枝

## 中学生と高校生の活躍分セツルワーク

7月1日(日)、ワークキャンプを開催しました。参加者は、6年生以上の子ども29名(中高生含む)、職員28名の総勢57名。セツルの家に到着すると、役割分担をして、早速作業開始!今回は、翌週の開設に向けて、飛び込み台の設置準備(錆取り、ペンキ塗り)、草刈り、薪縛り、布団干し、別棟の外壁塗り、室内清掃等の作業を行ないました。子どもたちには慣れない作業もありましたが、暑い中たくさん汗を流し、一生懸命それぞれの作業に取り組んでいました。昼食を食べ、午後は今年初めての湖水浴を存分に楽しみ、ワークキャンプが終わりました。

一日の活動を通して、多くの人と出会い、初めて の体験をし、大好きなセツルの家での思い出がま た1つ増えました。

次回は9月15日(土)~16日(日)に中学生以上 キャンプを開催します。

"環境問題""自分を大切にする力"について 考える機会を設ける等、学びにつながる内容も 企画中ですので、是非ご参加ください。

やまと保育園 角中 恒介

「ペンキ塗りとか、初めてのことができて良かった」 「みんなより早くセツルの家に来れて良かった」 「久しぶりに来て、早く今年もキャンプに来たいと思った」 「初めは緊張していたけど、他の施設の子と話せて良かった」









### ≪大地協活動のご案内≫

NPO 法人 大地協は、大阪市内にある保育所・学童保育・子どもの家・高齢者施設・障がい児者施設など 44 の施設及び個人会員が地域福祉のありかたについて研究・実践しています。

NPO 法人 大地協は、地域社会のすべての人々が安心して暮らせるまちづくりや、相互に支え合う人と人の つながりづくりを進めながら、関係機関・各種団体と連携、協働し、地域住民や地域福祉施設利用者の権利 擁護と自己実現を目指し、ひいては公益に寄与することを目的としています。

NPO 法人 大地協は目的を達成するために、次の特定非営利活動に係る事業を行っています。

- (1) 地域福祉や社会教育に関する研修会や調査研究事業
- (2) まちづくりや人と人のつながりづくりを推進する事業
- (3) 子どもたちや地域住民のためのスポーツ、文化的事業
- (4) 自然体験や環境問題を考える事業
- (5) 子どもの健全育成を図る事業
- (6) その他、目的を達成するために必要な事業

▼ さらなる大地協の活動や子どもたちの活躍は下記 QR コードよりご覧ください ▼















≪どなたでもご参加いただけますのご案内≫

9月24日(月)…児童部会 会場:名古屋

9月15日(土)~9月16日(日)…中学生・高校生キャンプ キャンプ地:セツルの家

10月23日(火)障がい児・者研究会支援者座談会 座談会会場:育徳園保育所 幸分ホール

11月11日(日)第20回自然体験応援大地協バザー 会場:風の子保育園